



INTERVIEW

## 福島で、実現する。

あなたが実現したいことは、なんですか？

先輩職員インタビュー

「地域が抱える課題を解決するため、

共に考え、サポートする」

所属

いわき地方振興局

企画商工部 地域づくり・商工労政課

● これまでの経歴（所属年度）

H25～H28 県北建設事務所 総務課

H29～ R2 保健福祉部 社会福祉課

R3 ～ いわき地方振興局 企画商工部  
地域づくり・商工労政課



行政事務

Q. 現在の仕事内容とそのやりがいについて教えてください。

A. 地域づくり・商工労政課は、商工業の支援や労働相談、観光・地域振興といった地域を支える幅広い業務を行っています。その中で私が担当しているのは、地域が抱える課題を地域住民の皆さんが自ら解決するために行う先駆的な「地域づくり活動」に対して、補助金を交付する事業です。

実際に活動を行うのは、地域の皆さんですが、事業の計画から終了まで関わらせていただいております。地域を活性化させるために一生懸命取り組んでいる皆さんの力になれることにやりがいを感じています。

Q. 福島県職員として、実現したいこと、目標としていることは何ですか。

A. 現在の目標は担当業務である、「地域づくり活動」に補助金を交付する業務において、地域が抱える課題を、地域住民の方と共に考え、解決に向けてサポートやアドバイスを行い、地域住民の方に信頼される職員となることです。

また、将来的には県の制度を利用して出産・育児と仕事を両立し、自分たちの子供の世代にとってもよりよい県にすることが出来るよう、尽力することが目標です。





Q. 県職員を志望した理由について教えてください。

A. 私が県職員を志望した平成24年は、東日本大震災発災から1年半ほど経過した時期であり、復旧・復興の先が見えない中、福島県の一日も早い復旧・復興のために力になれる仕事に携わりたいと思い県職員を志望しました。

Q. 印象に残っている仕事はありますか。

A. 社会福祉課で、災害義援金に関する仕事を担当したことです。私が配属されていた間に、東日本台風、令和3年2月福島県沖地震等の大きな災害が発生し、県では災害義援金の募集を行いました。多くの皆さまから寄付をいただき、時には寄付される方から「大変だと思うけど頑張ってください。」等、励ましの言葉をいただくこともあり、多くの皆さまに支えられて復興に向かっていることを実感しました。

Q. あなたをキーワードで伝えるとしたら、どんな言葉が思い浮かびますか。

A. 「地域振興」「東日本大震災を経験し県職員へ」「夏はアロハ」「休日はキャンプ」「地域の魅力を発信」

Q. 「夏はアロハ」について教えてください。

A. いわき地方振興局では、“フラのまちいわき”をPRするため、夏はアロハシャツでの勤務を推奨しています。私も、今年の夏は毎日アロハシャツで勤務していました。

県内各地に行くことができる県職員であるからこそ、各地域の魅力を感じられる機会が多くなります。



★この職員のワークライフバランスの実践について、パンフレットに掲載しています。ぜひご覧ください！